



病児保育に使われる部屋

病児保育 幼稚園の預かり保育 歯科の当番医



預かり保育を試行で始める2園。総社北幼稚園(写真上)と、山手幼稚園(写真下)

県大そうじゃ子育てカレッジ

4月から始まります

ゾウの形をした手すりがある乳幼児用トイレ(写真左)と、日なたぼっこもできるウッドデッキ(写真右)



乳幼児の親子が集う「つどいの広場」を、岡山県立大学の学部共通棟(西一番西側の建物)1階にある遊戯室で開催します。4月7日(水)以降、「チュッピーひろば」の名称で、主に水曜日の午前10時から午後3時までの開催を予定。詳しい開催日や内容などは、同カレッジが発行するお便りでお知らせします。

遊戯室は講義室を改修したものです。床を畳と床暖房付のフローリングにし、絵本やおもちゃなどを収納できる棚も設置。ウッドデッキや乳幼児用のトイレ、おむつ交換台も新たに設けました。「チュッピーひろば」は、同大学が専門知識や施設などを活用し、市や県、地域などが協働で取り組む子育て支援事業「県大そうじゃ子育てカレッジ」の活動の一つです。このほかにも、子育て支援者向けの研修会や情報交換会などを開催。遊戯室もチュッピーひろばだけでなく、さまざまな事業で活用し、地域ぐるみの子育て支援活動に取り組んでいきます。

県大そうじゃ子育てカレッジ 岡山県立大学 親子で遊べる「チュッピーひろば」に来てね! 大学を核にした子育て支援の拠点として活動

ここが「チュッピーひろば」です。

県大そうじゃ子育てカレッジは、乳幼児の親子が集う広場だけでなく、子育て支援者向けの研修会や情報交換会も開催します。大学のもつ保育や福祉、看護、栄養、さらに情報、デザインなどの知的財産をうまく連携させ、地域の皆さんに提供していきたいと思ひます。また、ここで実習する学生が、チュッピーひろばを訪れる子どもたちともどもお互いに成長してほしいと思ひます。

県大そうじゃ子育てカレッジ実行委員長
岡崎順子教授(岡山県立大学保健福祉推進センター長)

病児保育 三宅内科小児科医院

家庭で看病できないときに子どもを預かる 保育室の愛称は「ほっとチュッピー」

病児保育を4月から、三宅内科小児科医院(井手919)で実施。保育(食事を含む)を行い、必要に応じて診察や薬の処方も行います。利用には事前に登録が必要です。

利用時間 「月・火・木・金」午前8時30分から午後5時30分まで。「水・土」午前8時30分から午後1時まで

利用料金 1日利用すると2000円、半日利用は1000円。昼食300円、おやつ100円

公募していた病児保育室の愛称は、西村豪紀さん(真壁)の、暖かくほっと一息つける場にとの思いを込めた「ほっとチュッピー」に決定しました。

問い合わせ こども課児童保育係(☎8265)

病児保育 保育所や幼稚園、小学校(3年生まで)に通っている子どもが病気のため、集団保育や学校生活がむずかしく、保護者が仕事の都合などで、家庭で看病できない場合、その子どもを医院が預かることです。

幼稚園の預かり保育 総社北と山手の各幼稚園

幼稚園終了時間から午後4時まで 試行で実施

4歳児・5歳児を対象に、幼稚園の通常の終了時間から午後4時まで、その幼稚園で保育する預かり保育を4月から試行で、総社北幼稚園と山手幼稚園の2園で実施します。

預かり保育の園児は、通常どおり登園し、幼稚園で一日を過ごします。指導には、幼稚園教諭の免許をもつ預かり保育指導員があたります。

入園できるのは、園区内の子ども、また、園区内に住んでいない子どもでも、希望があれば、転居をせず入園が認められることがあります。保育料(1か月分)は、通常の幼稚園保育料5500円に6000円が加算されます。

問い合わせ 学校教育課(☎8358)